


令和5年度F C東京連携事業一覧表

No	担当課	事業名	新規・継続
1	企画経営課	ふるさと納税返礼提供事業	継続
2	広報課	動画「調布・狛江の魅力PR部の大学生 齋藤先輩と語ろう！「とにかくFC東京が魅力的すぎる件について」」	継続
3	広報課	市公式SNS（LINE・X（旧ツイッター））や市報での情報発信	継続
4	人事課	「令和6年度調布市職員採用案内」への掲載	継続
5	総合防災安全課	令和5年度調布市総合防災訓練・防災フェア	新規
6	文化生涯学習課	パラハートちょうふmeetsART	新規
7	文化生涯学習課	国際理解講座2023～世界の“いま”と平和を考える～	新規
8	文化生涯学習課	ちょうふピースメッセンジャー・ちょうふピースメッセンジャージュニア	継続
9	協働推進課	ちょみっと「X」フォロー&リポストキャンペーン	継続
10	産業振興課	バナーフラッグ作成・掲示	継続
11	産業振興課	第31回調布観光フェスティバル共催	継続
12	子ども政策課	いじめや虐待のないまち宣言PR事業	継続
13	児童青少年課	児童館交流サッカー大会「J's cup」	継続
14	福祉総務課	「社会を明るくする運動」PR活動	継続
15	高齢者支援室	高齢者体操教室	継続
16	障害福祉課	F C東京あおぞらサッカースクール	継続
17	障害福祉課	調布市障害者余暇活動支援事業（ほりでーぷらん）	継続
18	保険年金課	封筒にドロンパを使用	継続
19	交通対策課	高齢者等運転免許自主返納サポート事業	継続
20	指導室	F C東京選手会 小学校訪問授業	継続
21	社会教育課	令和6年調布市二十歳のつどい	継続
22	図書館	「F C東京選手の私のすすめるこの一冊2023」発行	継続
23	調布市スポーツ協会	第9回調布市小・中学生バレーボール交流大会	継続
24	調布市スポーツ協会	CHOFU SPORTSキャンプ2023	継続
25	調布市スポーツ協会	第63回調布市民体育祭 開会式（動画配信）	継続
26	調布市スポーツ協会	第41回調布市民スポーツまつり	継続
27	調布市スポーツ協会	第68回調布市民駅伝競走大会	継続
28	調布市スポーツ協会	第21回調布フットサル大会	継続
29	社会福祉協議会	東京都共同募金会調布地区協力会	継続
30	調布市文化・コミュニティ振興財団	調布よさこい	継続
31	調布市文化・コミュニティ振興財団	映画のまち調布 シネマフェスティバル2024	新規
32	スポーツ振興課 産業振興課	調布市F C東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム	継続

33	スポーツ振興課 産業振興課	青赤ストリート	継続
34	スポーツ振興課	F C 東京リーグ戦等の情報発信	継続
35	スポーツ振興課	ホームタウン6市分科会	継続
36	スポーツ振興課	調布市障害者スポーツ体験会	継続
37	スポーツ振興課	F C 東京「調布の日」	継続
38	スポーツ振興課	子どもサッカー体験教室	継続
39	スポーツ振興課	初心者向けフットサル教室（大人向け）	継続
40	スポーツ振興課	指導者講習会および小学生サッカークリニック	継続
41	スポーツ振興課 環境政策課	楽しくやろうCCAゴミ拾い部への参加	継続
42	スポーツ振興課	あおあかドリルの配布	継続
43	スポーツ振興課 広報課 議会事務局等	F C 東京クラブ創設25周年に向けた取組	新規
44	スポーツ振興課 広報課 文化生涯学習課 調布市文化・コミュニ ティ振興財団等	F C 東京2024シーズン開幕に向けた取組	新規

所管	企画経営課
事業名称	ふるさと納税返礼提供事業 継続
実施日	令和5年12月28日（木）～
実施内容	<p>2022年から調布市ふるさと納税返礼提供事業にご参画いただいているFC東京の協力のもと、FC東京の街路灯フラッグを返礼として用意し、希望する寄附者に届けた。</p> <p>12月28日にふるさと納税ポータルサイトのふるさとチョイスに公開したところ、2週間程度の掲載期間の間に51本もの申込をいただくことができた。</p>
今後の方向性や課題等	<div style="text-align: center;">  </div> <p>2年目の取組であり、両担当者間で円滑な打合せのもと、返礼品の種類や提供方法を決定することができた。前回は大きく上回る数量の申込があり、FC東京と調布市の連携を広く市外の方にも知っていただくことができた。</p> <p>今後も、市の連携・応援施策の一つとして、FC東京の魅力を広く発信すべく、返礼品のバリエーションを拡大させながら、返礼提供を継続していきたい。</p>

所管	広報課	
事業名称	動画「調布・狛江の魅力PR部の大学生 齋藤先輩と語り う！「とにかくFC東京が魅力的すぎる件について」」 (テレビ広報2023年6月20日号)	継続
実施日 実施内容	6月20日（火）～7月4日（火）に放送。調布市公式YouTubeでも配信中 テレビ広報ちょうふ2023年6月20日号で特集。FC東京の熱狂的なサポーターの「調布・狛江魅力PR部」の齋藤さんがキャスターが、6月3日にスタジアム通りで開催された第2回青赤ストリートでFC東京の魅力について熱く語った。	
今後の 方向性や 課題等	<div data-bbox="311 1014 1185 1491" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="320 1512 1369 1579">FC東京のファンでもある魅力PR部の大学生が、ファンならではの視点から魅力を熱く語って情報発信できたことから、行政にない視点で配信ができた。</p> <p data-bbox="320 1608 1326 1675">ファンが魅力を伝えることで、スタジアムに足を運ぶ市民を増やし、新たなファンの獲得やスポーツによる地域活性化につなげていきたい。</p>	

FC東京を応援するため、市内小学校訪問の様子や青赤ストリートなどの取組を、市公式SNS (調布市LINE公式アカウント・X (旧ツイッター)) で写真とともに配信した。


また、市報ちょうふでは、クラブ創立25周年を記念して9月20日号で特集した。また、2月20日号では開幕に向けて、開幕戦とホーム開幕戦の日程告知とともに注目選手と監督のメッセージを掲載した。

【FC東京選手が小学校を訪問】

6月14日、FC東京の森重真人選手、エンリケトレヴィザン選手、東廉太選手が滝坂小学校を訪問し、3年生92人と交流しました。FC東京の選手が小学校を直接訪問するのは、4シーズンぶりでした。

子どもたちは雨が降る中、校庭で選手たちと一緒に手つなぎゲームを行った後、体育館で選手たちに「サッカー選手になるためにはどうしたらいいですか?」などの質問に答えてもらい、楽しい時間を過ごせたようで目を輝かせていました。

小学生たちとの交流を終えた選手たちは、「子どもたちから元気をもらった」「盛り上がり嬉しかった」「積極的に参加してくれて気持ちよかったです」と話していました。(広報課)




4シーズンぶりに行われたFC東京の選手が小学校訪問で、選手と交流した小学生たちは楽しい時間を過ごすことができ、その雰囲気を紙面でも伝えられた。

選手だけでなく、個性あるコーチ・スタッフインタビューするなどもできたら、面白い企画になると思われる。

直接選手と交流できる貴重な機会を市SNSや市報による情報発信することで、新たなファンの獲得やスポーツによる地域活性化につなげていきたい。

所管	人事課	
事業名称	「令和6年度調布市職員採用案内」への掲載	継続

実施日 令和5年3月

実施内容 ○発行部数
1,000部（採用試験受験者向け）

○概要
魅力的な採用案内を制作し、多くの方々に手に取って読んでいただくため、市のPRの一環として、職員採用案内にFC東京との連携事業（市職員によるFC東京応援企画「ユニフォームデー」等）を掲載した。



今後の
方向性や
課題等

受験者から市職員採用試験への多数の申込があり、スポーツの盛んなまちとして市のPRにも繋がった。

所管 総合防災安全課

事業名称 令和5年度調布市総合防災訓練・防災フェア

新規

実施日 令和5年11月11日（土）

実施内容 令和5年は関東大震災から100年の節目の年であったことから、例年実施している総合防災訓練・防災フェアの規模を拡大して実施した。

(1)東京ドロンパー日消防署長

東京消防庁調布消防署と連携し、東京ドロンパを一日消防署長に任命、フェア当日に委嘱式を実施した後、会場内での写真撮影、調布消防署での訓練に参加した。調布消防署は、東京ドロンパに対し感謝状を授与した。

(2)調布防災×FC東京オリジナルノベルティグッズ

総合防災訓練・防災フェアにおいてデジタルスタンプラリーを実施、参加者への賞品として総合防災訓練用に製作した「オリジナル手拭い」「オリジナルエコバッグ」を配付した。

日時：令和5年11月11日（土）午前10時00分～午後3時30分

会場：市役所前庭広場、駅前広場、文化会館たづくり及び周辺、調布消防署、グリーンホール（大ホール）

参加者数：約6,700人



今後の
方向性や
課題等

オリジナルノベルティグッズの製作について、著作権、キャラクターのイメージなどを考慮し、グッズの種類、カラーなどについて、タイムスケジュールに余裕をもち、入念に打合せをおこなう必要がある。

所管 文化生涯学習課

事業名称 パラハートちょうふmeetsART

新規

実施日 令和5年5月～令和6年3月

実施内容

東京2020大会の開催を契機に障害者のスポーツのみならず文化芸術の発展に繋げるため、平成29年度から市内の福祉作業所や特例子会社等で制作されたアート作品を展示する「調布市パラアート展」を開催している。
令和5年度は、より多くの方に関心を持っていただき、文化芸術の振興を通じた共生社会のより一層の充実につなげていくため、「パラハートちょうふmeetsART 2023」として実施した。その中でパラアート展の応援企画「ビッグハートプロジェクト」をFC東京をはじめとする調布ゆかりのスポーツ団体等と連携して実施した。“パラハートちょうふ”にちなみ、カラフルなガムテープでつくる手のひらサイズのハートを繋ぎ合わせて大型アート作品を制作するプロジェクトであり、FC東京の選手やスタッフの方にアート制作に協力いただいた。また、6月3日に開催された「FC東京第3回青赤ストリート」の会場内でワークショップを実施し、イベント来場者の方もアート制作に参加してもらい、大型アートを完成させた。
完成したアートはデザインデータ化し、文化会館たづくりの館内装飾に活用している。



今後の
方向性や
課題等

FC東京と連携して実施したことにより、FC東京のサポーターなど新たな層の参加を促すことができ、多くの方に本取組を知ってもらうことができた。次年度以降も引き続きFC東京と連携し、文化芸術の振興を通じて共生社会の重要性をこれまで以上に発信していきたい。

所管 文化生涯学習課

事業名称 国際理解講座2023～世界の“いま”と平和を考える～

新規

実施日 令和5年12月9日（土）

実施内容 調布市非核平和都市宣言40周年記念事業として、ピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニアによる活動報告、ウクライナ出身の留学生によるウクライナの文化、料理、音楽や簡単な会話などの講話、NPO法人地球のステージによる世界で出会った人々の明るくたくましく生きる姿を映像と音楽、語りによって伝えるコンサートなど、世界に目を向け、平和について改めて考える機会を設けるため実施。会場はグリーンホール大ホール。来場者数は210人。
FC東京協力の下、事前申込者プレゼントのFC東京グッズに選手のサインをいただいたほか、石川CCにご出席いただき、ピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニアの活動報告への講評をいただいた。また、FC東京及び石川CCのSNSによる本事業の広報にご協力いただいた。



今後の
方向性や
課題等

FC東京の持つ影響力を生かし、SNSでの情報拡散や選手のサイン入りプレゼントグッズなど、広報面にご協力いただいたことにより、市内外から幅広い層の来場者を獲得することができた。また、ピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニアの活動報告に対する石川CCからのご講評の中で、サッカーを通じた平和についてお話しいただいたことにより、来場者が様々な角度から戦争・平和について考えるきっかけとすることができた。
本事業は単年度の事業だが、次年度以降も国際交流・平和事業におけるFC東京との連携を積極的に進めていきたい。

所管 文化生涯学習課

事業名称 ちょうふピースメッセンジャー・ちょうふピースメッセンジャージュニア

継続

実施日 令和5年7月2日（日）～令和6年3月31日（日）

実施内容 中学生被爆地平和派遣（ピースメッセンジャー）事業及びピースメッセンジャージュニアの取組をFC東京との連携により実施した。

【中学生被爆地平和派遣】次代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し、戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け、その成果を広く市民へ還元することを目指す。今年度は市内の中学生12人をピースメッセンジャー2023として広島へ派遣した。

【ピースメッセンジャージュニアの取組】8月6日（日）に実施されたFC東京VSセレッソ大阪の試合にあわせて、市内の小学生をピースメッセンジャージュニア2023として大阪・広島へ派遣し、戦争・平和に関する学習を行った。また、広島派遣に参加したピースメッセンジャーと事後学習会や報告会を実施した。

ピースメッセンジャー・ジュニア合同で実施した任命式、事後学習会及び報告会において、石川CCにご出席いただきメッセージ及び講評をいただいたほか、ピースメッセンジャージュニアの大阪・広島派遣に随行していただいた。

今後の
方向性や
課題等

ピースメッセンジャージュニアの取組について、FC東京と連携し「試合観戦」と「平和学習」を組み合わせた事業を実施することにより、サッカーに興味があり本事業に参加した小学生が、現地での平和学習を通して戦争・平和について興味を持ち、自ら調べ学習を行う等、若年層の平和学習のきっかけとすることができた。また、任命式や報告会において、石川CCにサッカー通した相手への「リスペクト」の心など、サッカーを切り口とした平和への想いをお話いただいたことにより、ピースメッセンジャーやピースメッセンジャージュニアの「平和」に対する理解が促進された。次年度以降も若年層が戦争・平和について関心を持つきっかけとなるよう、FC東京と連携した取組を実施したい。また、FC東京の持つ影響力を生かし、ピースメッセンジャー、ピースメッセンジャージュニアの学びの成果や平和への想いを市内外へ広く発信していきたい。

所管 協働推進課
 事業名称 ちょみっと「X」フォロー&リポストキャンペーン 継続

実施日 令和6年2月20日（火）～3月10日（日）

実施内容 令和6年3月10日（日）に実施する「第10回調布まち活フェスタ」をPRするとともに、ちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」に掲載している市内イベント及び活動団体情報を投稿している「X」の認知度向上を図るため、FC東京選手サイン入りTシャツを抽選でプレゼントするフォロー&リポストキャンペーンをFC東京と連携して行う。
 FC東京の「X」アカウントからもキャンペーン対象の投稿をリポストし、より多くの方に「第10回調布まち活フェスタ」及び「ちょみっと」を周知する予定である。



ちょみっと「X」フォロー&リポスト
 キャンペーンの投稿内容（案）

今後の
 方向性や
 課題等

引き続き、フォロー&リポストキャンペーン等、SNSを通じた連携を図っていくことに加え、FC東京が行っているスポーツボランティア等の社会貢献活動を「ちょみっと」にて紹介していくなど、更なる連携を深めていきたい。

所管	産業振興課
事業名称	バナーフラッグ作成・掲示 継続
実施日	令和4年2月から（順次掲示）
実施内容	市内商店会の街路灯へF C東京のオリジナルバナーフラッグを取り付け，市としてF C東京を応援する事業。 ・掲示場所 スタジアム通り，飛田給，西調布，調布駅周辺，市役所
	
今後の方向性や課題等	調布市がF C東京を応援していることを，市を訪れた人たちに効果的に伝えることができた。 来年度についても引き続き掲示することで，F C東京との関係を強化していきたい。

所管 産業振興課

事業名称 第31回調布観光フェスティバル共催

継続

実施日 令和5年5月13日（土）、令和5年5月14日（日）

実施内容 昔遊びの景品として、FC東京ドロップノート・ポケットティッシュをプレゼント。調布市観光協会主催，調布市共催。



今後の
方向性や
課題等

市内の観光資源の活用・PR及び市内商業の活性化のため、調布駅前広場で第31回調布観光フェスティバルを調布市観光協会とともに開催した。当日は、二日間とも、生憎の雨模様であったが、子どもから大人まで、多くの方が訪れ、大変賑わったことから、観光振興及び商業振興・市内のにぎわいの創出につながった。

昔遊びの景品として、FC東京ドロップノートやポケットティッシュを配することで、多くの子どもたちに喜ばれ、FC東京をより身近に感じてもらうことができた。

今後も効果的なPRとなるよう、引き続き、取組を継続していきたい。

所管 子ども政策課

事業名称 いじめや虐待のないまち宣言PR事業

継続

実施日 令和5年11月4日(土)

実施内容 「いじめや虐待のないまち宣言」を広く周知するため、子ども達に「みんななかよし」をテーマに、描いてもらった絵をシールに加工して、ごみ収集車へ貼ることで、普及啓発を目的としたPR事業を実施している。

また、国領駅近くの「あくろす」にて、12月15日から1月8日まで、展示会を開催した。

なお、FC東京からいただいた協賛品は、ごみ収集車出発式終了後に、参加賞として子ども達へ配布した。(出発式欠席者には令和6年3月31日まで配布予定)

【参加者】

小学1年生から6年生まで 127名

今後の
方向性や
課題等

ごみ収集車出発式では、ごみ収集車の前や運転席に座って、楽しそうに写真撮影をする家族連れで賑わっていました。参加賞を受け取った子ども達は、とても喜んでくれました。今後も継続していきたいと思います。

所管 児童青少年課

事業名称 児童館交流サッカー大会「J's cup」

継続

実施日 令和6年1月7日（日）

実施内容 市内の児童館や学童クラブで活動している児童が一堂に会し、サッカーを通じて仲間との親睦を深め、チームワークやルールの中でプレイすることなどの大切さを学ぶ。

この事業は、Jリーグが開幕した1993年に調布市でもサッカーで熱く盛り上がりよう！という趣旨からスタートし、その後、FC東京のホームタウンを構成する市の1つとして、サッカー競技の盛り上げと児童の健全育成を目的に開始しました。

小学生「低学年」のチームを3ブロックに分け、1年生の得点は2点にするなど、交流大会らしいローカルルールを設定し実施しました。

参加賞として、子ども用Tシャツを400着いただきました。手に取った参加児童、保護者は大喜び！街中でTシャツを着た児童を見かけることがあり、こちらもうれしい気持ちになります。今後もよろしくお願いします。

実施会場：ミズノフットサルプラザ調布

参加人数：31チーム 347人



今後の方向性や課題等



- ・例年、参加児童、保護者を含めて、とても盛り上がる事業であり、FC東京の地元として、今後も継続していく。
- ・サッカーに触れることだけでなく、市内の同年齢層の児童とプレイすることで、個々のさらなるレベル向上に繋げ、将来のJリーガー育成事業とする。

所管 福祉総務課

事業名称 「社会を明るくする運動」PR活動

継続

実施日 令和5年7月1日（土）

実施内容

7月1日（土）に味の素スタジアムで開催された、F C東京対柏レイソル戦のハーフタイム時に、F C東京マスコットキャラクターの東京ドロンパと、社会を明るくする運動のマスコットキャラクターのホゴちゃんと一緒に、社会を明るくする運動の横断幕を持ち、調布保護司会の方々とピッチを周回するなどのPR活動を行いました。

二人のマスコットキャラクターが横断幕と共にピッチを歩く姿は、当日の来場者20,571人の注目を集め、広報活動として大きな効果がありました。

【社会を明るくする運動】

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築こうとする、全国的な運動。主唱：法務省



今後の方向性や課題等

F C東京様には、例年社会を明るくする運動の推進委員を務めていただいております。本年度もホームゲームでのPR活動に加え、調布市在住、在籍の中学生をホームゲームに招待していただき、本運動の啓発に御協力をいただきました。

昨年までは上記の活動に加え、中学生の健全育成を目的としたサッカー教室を開催しておりましたが、中学校やF C東京との協議のうえ、本年度以降の開催を見送ることといたしました。次年度以降の代替事業については現在検討中です。

所管 高齢者支援室高齢福祉担当

事業名称 高齢者体操教室

継続

実施日 令和5年11月2日（木），令和6年3月7日（木）

実施内容 保健師による介護予防の講義後，FC東京のトレーナーの指導で，高齢者向けにアレンジされた運動を楽しむJリーグFC東京高齢者体操教室を開催しました。全身の筋肉をほぐす簡単なストレッチから始まり，最後はサッカーボールを使って，転倒予防に資するトレーニングを行いました。参加者の方からは，「楽しく身体を動かすことができました」と好評。

対象：65歳以上の，医師から運動制限を受けていない市民

参加費：無料

【参加人数】

女性11名，男性2名の計13名



今後の
方向性や
課題等

令和5年度から年2回の開催に変更。令和6年度からは明治安田生命のスポンサー枠を活用して，年3回の開催予定。

高齢者支援室の推奨する「10筋体操」より強度のある運動プログラムとして，FC東京「高齢者体操教室」を浸透させていきたい。

所管	障害福祉課	
事業名称	FC東京あおぞらサッカースクール	継続
実施日	毎月第2日曜日（8月を除く）ほか年3回交流会	
実施内容	<p>主に知的・発達障害がある方向けのサッカースクールです。FC東京コーチ陣に加え、外部コーチ（NPO法人トラッソス）にもお越しいただいている。障害の程度に合わせたクラスを設定をし、手厚いコーチ陣の支援のもと、参加者の得意なこと・できることに合わせた内容で実施。参加者にとって貴重な外出及び運動の機会となっている。</p> <p>毎月第二日曜日の定例会のほか年3回「交流会」という形で、試合形式による他チームとのゲームを実施している。</p> <p>【クラス種別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度の障害がある方を対象としたエンジョイクラス（小学生クラス定員20名 ※令和5年度からの新規クラス／中学生以上クラス 定員20名） ・軽度、中度の障害がある方を対象としたチャレンジクラス（小学生クラス定員20名／中学生以上クラス 定員20名） 	
		
今後の方向性や課題等	<p>令和5年度は事業を拡充して、定員20名拡大（エンジョイクラス全年齢対象定員20名を、エンジョイクラス小学生20名、エンジョイクラス中学生以上20名に拡充）した。</p> <p>またFC東京クラブ創設25周年と絡めて、9月23日の交流会で石川直宏CGをゲスト参加ほか、観戦チケット配布、ビッグハートを掲示して写真撮影をした。</p> <p>あおぞらサッカースクールのユニフォームやバナーの作成を行った。</p>	

所管 障害福祉課

事業名称 調布市障害者余暇活動支援事業（ほりでーぱらん） 継続

実施日 令和6年3月16日（土）※予定

実施内容 スポーツなど運動機会が限られてしまう成人の知的障害者を対象に、昨年度に引き続き、今年度もF C東京コーチと一緒にサッカーを楽しむ企画を実施予定です。

昨年度は、持っているサッカーボールを相手にタッチしながらの挨拶からスタート。気持ちいい挨拶から心躍る様子が伝わってきました。その後もボールを「弾ませる」「蹴る」「蹴りながら前進する」等の基本的な動きに慣れていき、徐々にサッカーらしいプログラムへ。ゴールめがけてシュートしたり、壁となっている人を避けながらドリブルしたり、スタッフと一緒に声を掛け合いながら楽しみました。プログラムの後半は簡単なゲームも実践。俊敏な動きから一瞬であちこちにボールが行き来する展開に、応援している参加者も大いに盛り上がりました。

会場：大町スポーツ施設・体育館
 参加費：300円（保険代，飲料水代）
 【参加人数（昨年度実績）】
 16名



今後の
 方向性や
 課題等

今年度で開催4年目を迎え、毎年の恒例イベントとして実施している。毎年参加して下さる方も多く、ご本人や保護者様からも「とても楽しみにしていました」とのお声をいただいている。

今後の課題として、1点目はweb上で実施会場と自宅や施設を繋ぐなど、重度の障害者も参加できる企画や方法を検討すること、2点目は安定した事業継続のために、スタッフとして協力してくれている市内各事業所の職員やボランティアなどの安定的な確保することの2点がある。

所管	保険年金課
事業名称	封筒にドロンパを使用 継続
実施日	令和5年4月1日～令和6年3月31日
実施内容	健診結果提供を依頼する封筒に、「調布市はFC東京を応援しています」のフレーズを印字し、FC東京マスコットの東京ドロンパを挿入してPRを実施。対象者は、健診結果を提供していただける40歳～74歳の調布市国民健康保険加入者。
今後の方向性や課題等	調布市がFC東京を応援していることのPRになる。

所管	交通対策課	
事業名称	高齢者等運転免許自主返納サポート事業	継続
実施日	令和5年1月20日（金）から	
実施内容	<p>運転免許証を自主返納した高齢者等が、協力店舗ステッカーを掲示している店舗等で買い物等の際に、運転経歴証明書を提示すると、店舗等の独自のサービスを受けることができるもの。</p> <p>FC東京カラーの調布市ロゴを高齢者運転免許返納サポート事業のガイドブック及び店舗ステッカーで使用することで、FC東京の広報に繋げる。</p>	



今後の
方向性や
課題等

協力店舗の拡大が課題である。

所管 指導室

事業名称 FC東京選手会 小学校訪問授業 継続

実施日 令和5年6月14日（水）

実施内容 FC東京の選手が小学校を訪問し、児童の前で選手がシュートを披露したり、選手との触れ合い（サッカーやボールを使った遊び）、質問コーナー（小学生時代のエピソードや夢の話）等の時間を過ごし児童との交流を図るもの。
対象：市内小学校のうち1～2校、小学3年生以上
会場：校庭、体育館
参加費：無料
【参加人数（延べ人数）】
滝坂小学校（3年生3クラス99人）



今後の
方向性や
課題等

選手と触れ合える機会は子どもたちにとって大変貴重な経験となっているため、今後も継続して実施していきたい。

所管 社会教育課

事業名称 令和6年調布市二十歳のつどい 継続

実施日 令和6年1月8日（月・祝）

実施内容 令和6年調布市二十歳のつどいにて、FC東京の森重真人選手からのビデオメッセージを上映した。
また、FC東京から抽選会の景品として「フランスの文房具ブランドRHODIA（ロディア）とFC東京の限定グッズ『RHODIA（ロディア）ウェブノートブック』」を5冊提供いただいた。

対象者：令和5年度に20歳を迎えられる方
※平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれで調布市住民基本台帳に記載されている方
※過去に市内に居住していたなど、現在記載されていない方も出席可能（要事前申請）
会場：調布市グリーンホール大ホール
対象人数：2,287人
出席者：1,242人



今後の方向性や課題等 今後も引き続き、FC東京の選手からのビデオメッセージや記念品の提供等、御協力をいただきたい。

所管 図書館

事業名称 「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2023」発行

継続

実施日 令和5年6月から

実施内容

FC東京の協力を得て「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2023」を作成し、3,000部印刷。今年もトップチームの選手から回答をいただくことができた。今回は、ジャンルを問わずおすすめの本を選んでいただいた。前年度に引き続き、選手集合写真・東京ドロンパ・図書館公式キャラクターじろのコラボしおりを巻末に掲載。

令和5年6月3日「FC東京調布の日」飛田給駅前の青赤ストリートにて、冊子を1,000部配布。あわせて中央図書館4階のFC東京応援展示コーナーで配布及び掲載図書展示を行った。市内10分館でも冊子の配付を行った。また、東京多摩130年イベント（10月28、29日開催）調布市紹介ブースにおいての配布を行った。11月には展示の様態替えを行い、FC東京からご提供いただいた映像を流すなど、FC東京25周年に合わせての展開としている。

今後の
方向性や
課題等

- ・中央図書館FC東京応援展示コーナーの充実
- ・選手によるリモートおはなし会や東京ドロンパによる1日館長等の、ご了承いただいているが未実施の企画について、実施に向けた具体的な話し合いを進めていきたい。
- ・図書館で行う事業へ、今後もFC東京様からグッズをご提供いただけるとありがたい。
- ・東京ドロンパと調布市立図書館公式キャラクターじろのぬりえの実施。
- ・味の素スタジアムで冊子を配付する機会があれば積極的に参加したい。
- ・他課で行う応援企画への積極的参加をしたい。
- ・2024年新体制を紹介する。

所管 スポーツ協会

事業名称 第9回調布市小・中学生バレーボール交流大会 継続

実施日 小学生／令和5年12月17日（日） 中学生／令和5年8月1日（火）

実施内容 【内容】
市内の小中学生を対象としたバレーボールの交流大会

【会場】

小学生／調布市総合体育館
中学生／武蔵野の森総合スポーツプラザ

【参加者数】

小学生男子／4チーム（41人）
小学生女子／8チーム（97人）
中学生男子／9チーム（132人）
中学生女子／9チーム（134人）

【FC東京との連携】

- （1）参加賞の提供
- （2）プログラムへの広告掲載



今後の
方向性や
課題等

今後も継続して、開催を予定しています。

所管 スポーツ協会

事業名称 CHOFU SPORTSキャンプ2023

継続

実施日 令和5年8月23日（水）

実施内容 【内容】
スポーツを通して「強くたくましく、友達を思いやる心を育てる」ことを目的とし、夏休みの1日を利用してサッカーとパラスポーツ（ゴールボール）の体験会を行いました。

【会場】
調布市総合体育館

【参加者数】
44人

【FC東京との連携】

- (1) 当日の運営・指導
- (2) 石川直宏クラブコミュニケーターをゲストに迎えたサッカー教室



今後の
方向性や
課題等

今後も継続して、開催を予定しています。

所管	スポーツ協会	
事業名称	第63回調布市民体育祭 開会式（動画配信）	継続
実施日	令和5年9月5日（火）	
実施内容	<p>【内容】 調布市民体育祭開会式を昨年度より対面ではなく、YouTubeによる動画配信での開催へ変更しました。主催者、来賓あいさつの他、FC東京をはじめとした、プロスポーツチームの選手より激励のメッセージをいただきました。また、動画を視聴いただき、調布市スポーツ協会のX（旧：Twitter）をリポストいただいた方へ選手のサイン入りグッズなどのプレゼントを行いました。</p> <p>【会場】 調布市スポーツ協会YouTubeチャンネル</p> <p>【視聴回数（令和6年2月15日現在）】 579回</p> <p>【FC東京との連携】 （1）森重真人選手の出演 （2）サイン入りグッズの提供</p>	
今後の方向性や課題等	 <p>今後も継続を予定しています。</p>	

所管	スポーツ協会
事業名称	第41回調布市民スポーツまつり 継続
実施日	令和5年10月9日（祝・月）
実施内容	<p>【内容】 味の素スタジアム及び周辺施設にて、様々なスポーツ・レクリエーションに親しむことができるイベントを開催しました。</p> <p>【会場】 味の素スタジアム・ミズノフットサルプラザ味の素スタジアム</p> <p>【来場者数】 2,984人</p> <p>【FC東京との連携】 (1) FC東京サッカークリニックの開催 (2) トークショーへ羽生直剛クラブナビゲーターの出演 (3) キックターゲットコーナーの設置</p>
今後の方向性や課題等	<p>今回は雨天の影響により、想定していた来場者数には届きませんでした。来場いただいた方にはスポーツを楽しんでいただくことができました。</p> <p>また、同日に開催している商工まつりと連携を図ることで、双方の事業に参加を促すことに繋げるなど、相乗効果に努めました。</p>



所管 スポーツ協会

事業名称 第68回調布市民駅伝競走大会

継続

実施日 令和6年1月28日(日)

【内容】
調布市の冬の風物として、調布市の歴史とともに開催される市民を対象とした駅伝競走大会となります。

【会場】
アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園特設周回コース

【参加者数/来場者数】
275チーム(1,328人)/2,800人

【FC東京との連携】
(1) FC東京賞
(2) 参加賞配付用のランドリーバックの提供
(3) プログラム及び記録集への広告掲載



今後の
方向性や
課題等

今大会は味の素スタジアムの改修工事に伴い、4年ぶりにアミノバイタルフィールドで開催いたしました。
令和6年度以降は従来通り、味の素スタジアムでの開催を予定しています。
中学生の部の参加チーム数減少が課題となっています。

所管 スポーツ協会

事業名称 第21回調布フットサル大会 継続

実施日 令和5年12月10日（日）

実施内容 【内容】
サッカーのまち調布を盛り上げる大会として、FC東京及び味の素スタジアム
周辺施設の協力のもとサッカー及びフットサルの普及を目指し、実施していま
す。

【会場】
ミズノフットサルプラザ調布

【参加チーム数】
ミックスの部／24チーム
一般の部／8チーム

【FC東京との連携】
(1) 入賞チームへの賞品提供



今後の
方向性や
課題等

オープン大会のため、市外からの参加者も多くいますが、幅広い年齢層で
サッカー・フットサルを楽しめる大会として、今後も継続して開催を予定して
います。

所管 社会福祉法人 調布市社会福祉協議会

事業名称 東京都共同募金会調布地区協力会

継続

実施日 10/28(土) VSサンフレッチェ広島戦

実施内容

- 例年のメイン、バックの2か所に加え、今回は初めて青赤ストリートにて赤い羽根共同募金とのコラボピンバッジ販売と、募金を頂いた方へ限定デザインの青赤の羽根をお渡しした。バッジは1個500円で販売し、製作費を除いた額を東京都共同募金会へ寄付をした。令和4年度よりも200個増やした1500個を販売したが、完売となった。
- 募金活動にも多くの方が足を止め、募金をしていただいた。



今後の
方向性や
課題等

- 限定バッジを毎年楽しみにしている方もおり、来年度以降も継続していきたい。
- また、メインの販売場所がわからなかったとお声もあり、当日の販売PRの方法を今後の検討課題とする。

所管 文化・コミュニティ振興財団

事業名称 調布よさこい

継続

実施日 令和5年8月26日（土）

実施内容 実施会場：調布市グリーンホール，たづくりエリア（調布市文化会館たづくり1階むらさきホール，市役所前庭，たづくり北側道路），旧甲州街道（布田駅前～調布駅北口）
参加者：延べ約33,300人
概要：調布よさこい踊りに，地域団体の出店やステージパフォーマンスを実施。
会場：

FC東京さんには，スタンプラリーの景品の鳴子に貼るへのシールをご提供いただきました。



今後の
方向性や
課題等

・毎年，鳴子シールのご提供をはじめ，イベントと一緒に盛り上げていただいております。
開催日でなければ，またキックターゲットでご参加いただけると幸いです。

アイディア

・味スタ試合開催日に，スタジアム入り口周辺やコンコースなどでのよさこい演舞など

所管 文化・コミュニティ振興財団

事業名称 映画のまち調布 シネマフェスティバル2024 新規

実施日 令和6年1月26日（金）～2月18日（日）

実施内容 実施会場：調布市文化会館たづくり，調布市グリーンホール，イオンシネマシアタス調布

概要：「映画のまち調布 シネマフェスティバル」とFC東京の連携を図り、調布市民並びにFC東京サポーターへの両者のPRを図る企画を実施。シネマフェスティバル開催に向けて受付した第6回日本映画人気投票をPRする映画に関するQ&Aを実施し、WEBで展開。また、選手のメッセージ動画をWEBならびにイオンシネマシアタス調布，文化会館たづくりのロビーで放送。日本映画人気投票PRを青赤パークで実施。

FC東京さんには、下記を実施していただきました。

- ①選手アンケート
- ②選手コメント動画
- ③日本映画人気投票キャンペーン用グッズへの選手サイン



今後の
方向性や
課題等

・本年度より、新たな試みとしてイベントを一緒に盛り上げていただき感謝しています。
今回、ご一緒できたことにより普段とはまた異なる層の客層へのPRを実施することができイベント認知向上に繋げることができました。

アイディア

・次年度は、青赤ストリートでのPRやSNSで実施キャンペーン展開についてよりわかりやすくPRしていければと思います。

所管 産業振興課・スポーツ振興課

事業名称 調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム

継続

実施日 令和5年7月7日、6年3月21日（予定）

実施内容

FC東京創設20周年を契機に、FC東京と連携した協働のまちづくり等を推進することを目的として、調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チームを設置（平成30年1月）。副市長をリーダーとし、公募委員も含む23名の委員が次の事項について検討を行うもの。

- (1) FC東京創設20周年記念関連事業の推進における市の取組に関すること。
- (2) FC東京と連携したスポーツ振興、青少年の健全育成、市民の健康づくり及び地域経済活性化等に資する協働のまちづくりの推進に関すること。
- (3) ホームゲーム来場者及びクラブサポートメンバーの拡大等、FC東京の活動の応援に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。

○令和5年度第1回全体会 令和5年7月7日

（内容）FC東京青赤ストリートについて、クラブ設立25周年に向けた取組について等

○令和5年度第2回全体会 令和5年3月24日（予定）

（内容）未定



今後の方向性や課題等

PTはFC東京クラブ20周年を契機に発足し、令和5年度はFC東京クラブ設立25周年に向けた取組の検討をはじめ、「青赤ストリート」の実施に向けた検討等を行った。今後は他のJリーグクラブホームタウンとの連携や、FC東京のホームタウン同士の更なる連携などを検討しつつ、FC東京を活用したまちづくりについて検討していきたい。

また、PTを今後も継続的に実施していくための運営方法等についても検討していく。

所管 スポーツ振興課・産業振興課

事業名称 青赤ストリート

継続

実施日 令和5年6月3日（土）、令和5年10月28日（土）

実施内容 味の素スタジアムで開催されたJ1リーグ2023シーズン第16節（対横浜F・マリノス）、第31節（対サンフレッチェ広島）に合わせ、飛田給駅から味の素スタジアムまでの通称「スタジアム通り」を歩行者専用道路とする「青赤ストリート」を開催。

当日は様々なイベントが実施された。

○第16節（対横浜F・マリノス）

- ・ビッグハートプロジェクト（ワークショップ）
- ・青赤ストリートマルシェ
- ・ステージイベント
- ・PRブース出展 等

○第31節（対サンフレッチェ広島）

- ・ちょうふピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニア活動報告・展示
- ・青赤ストリートマルシェ
- ・ステージイベント
- ・PRブース出展 等



今後の
方向性や
課題等

FC東京ファン及びビジターチームファンが1試合につき3万人近く来場することから、調布のまちのPRとともに、スタジアム周辺のにぎわいの創出と地域経済の活性化が期待される取組を行っていく。

FC東京のホームゲームにおいて、スタジアム通りでイベントを開催。産業振興課では、調布市PRブースにて、市内観光情報等のチラシを配架し、調布市の魅力を紹介。また、調布花火2023（第38回調布花火）の映像をタブレットで流し、来場された方に来年度開催に向けた募金を呼びかけ、合計125,016円を集めることにつながった。

今後、より効果的なPRとなるよう、イベントの紹介や物産品販売等、充実したPR方法を検討していきたい。また、FC東京や関係団体、そして、地域の方々と「青赤ストリート」の継続的な実施に向けて連携をして、イベントの盛り上げを検討していく。

所管	スポーツ振興課
事業名称	F C東京リーグ戦等の情報発信 継続
実施日	随時
実施内容	<p>市民の応援機運醸成の取組として、市公式HPやSNSで情報発信するほか、J1リーグ戦の試合結果を随時、市のHPへ掲載。市報でも情報発信を行う。（広報課と連携）</p> <p>また、SNSアカウントX（旧Twitter）を活用したユニフォームデーのリレーポストなどの情報発信を実施。</p> <p>F C東京関連のポストは視聴回数も多く、最大26万回以上の視聴を記録したポストもあった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
今後の方向性や課題等	<p>より広く調布市のスポーツ情報を届けるべく、フォロワーの獲得数の増加が必要。スポーツ振興課のイベント等で周知を図るなど、フォロワー獲得に向けた取組を実施していく。</p>

所管 スポーツ振興課

事業名称 ホームタウン6市分科会

継続

実施日 令和5年5月17日（水），9月20日（水），12月21日（木）

実施内容 FC東京ホームタウン株主6市の関係強化，各市におけるスポーツを活用した施策のナレッジ・ノウハウ・資源の共有及びホームタウン株主6市が連携した効果的な施策実現への効果的な足場づくりとしてFC東京の行政担当者による分科会を実施。分科会内では，各市の取組紹介や，6市連携で今後取り組みたい事業についてFC東京担当者も交えグループワークなどを実施。
令和5年度は，昨年に引き続きオリジナルポロシャツの製作やSNSでの情報発信をはじめ，FC東京クラブ設立25周年を記念して，ホームタウンの自治体が連携してメッセージ動画を制作，発信を実施。



今後の
方向性や
課題等

6市連携での取組について，今後は市民主体での取組を検討していく。
また，分科会の運営について，今年度，運営方針を確立したので，今後は定期的な運営ができるようにホームタウン各市と連携していく。

所管 スポーツ振興課

事業名称 調布市障害者スポーツ体験会

継続

実施日 令和5年12月17日（日）

実施内容 調布市障害者スポーツ体験会において、普及部コーチによる体験ブースの出展をしていただいた。今年度は、毎年お願いしている「ウォーキングフットボール」に加えて、新たに「デフサッカー」体験も実施した。

「ウォーキングフットボール」とは歩いて行うサッカーのことで、走らない、接触しない、ボールを浮かせないというルールで行う。本体験会ではドリブルやシュート体験を実施。参加者からは「思わず走りたくなる」、「走らずプレーするのが難しいけど楽しい」などといった声が上がった。

「デフサッカー」体験は、東京2025デフリンピックへ向けたデフスポーツの普及啓発に資する取組として、FC東京と協議のもと今年度初めて実施。聞こえる方向けの体験はあまり例がないが、耳栓とイヤーマフを付けた状態で、表情や身振り手振りでのパスワークに挑戦し、「お願いします」「ありがとうございました」「拍手」などの簡単な手話も取り入れた。

ウォーキングフットボール



デフサッカー



今後の
方向性や
課題等

障害者スポーツ体験会を実施する際には、引き続き体験ブースの出展にご協力いただきたい。内容については、今年度のように協議のうえ、対応可能な範囲で柔軟にご検討いただけると大変ありがたい。

所管 スポーツ振興課

事業名称 FC東京「調布の日」

継続

実施日 令和5年6月3日（土）

実施内容

令和5年度は味の素スタジアム開催のホームゲーム（対横浜F・マリノス戦）を「調布の日」とし、市民招待（500組1,000人）に加えて、同日開催の「青赤ストリート」内での出展やパフォーマンスを中心にイベントを行った。

- ・ビッグハートプロジェクト（ワークショップ）
- 調布市パラアート展の応援企画として「ビッグハートプロジェクト」を実施。手のひらサイズのハートを制作し、大型アート作品を制作するプロジェクト

- ・調布市観光PRブース

映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の取組、深大寺などたくさんの魅力が溢れる調布の観光情報の発信や、調布市立図書館が毎年発行している「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2023」の配布を実施。

- ・青赤ストリートマルシェへの出展

調布市内に拠点を有する事業者によるお店等の出展

- ・調布市ステージコンテンツ

調布市にゆかりのある団体によるパフォーマンス

- ・青赤ドレッシングin飛田給

FC東京のクラブ設立25周年を記念して、飛田給駅周辺の青赤ドレッシングを実施。



今後の
方向性や
課題等

年に1回の開催が予定されている調布の日においては、関係各所との調整を早めに行い、調布の魅力をアウェイサポーター含めた来場者のみなさんにPRできるような取組検討を行う。

所管	スポーツ振興課
事業名称	子どもサッカー体験教室 継続
実施日	令和5年12月9日（土）
実施内容	<p>サッカー未経験・初心者子どもたちを対象に、FC東京の普及部コーチ陣によるサッカー教室を開催しました。</p> <p>年中・年長児の部では保護者の方にもご参加いただき、お子さんとペアになって遊び感覚のウォーミングアップから始まり、最後は子どもチームと大人チームで対戦。子どもたちはもちろん、保護者の方にも「いい運動になりました」と好評。</p> <p>小学生は「1年生の部」と「2年生から4年生の部」に分かれて実施。ウォーミングアップのあとは、2、3人でパスを回してシュートまで持っていく練習など、試合で活用することを念頭に置いたメニューに取り組みました。</p> <p>対象：市内在住・在学の年中・年長児～小学4年生 ※従前の申込状況を勘案し、申込対象を広げ、年中児から小学4年生とした。</p> <p>会場：市民西町サッカー場 参加費：無料 【参加人数（延べ人数）】 年中・年長児37組，小学生58人の計95人</p>
	
今後の方向性や課題等	<p>昨年度は、周知期間が短く、追加募集を行ったが定員割れしたクラスがあったことから、申込期間を約1か月設けたところ、全学年において定員を満たすほどの申込みがあった。なかでも、年中・年長児の申込みが多く、急ぎよ普及部コーチに対応人数を増やしていただいたものの、半数近くの方に落選通知を出すことになった。</p> <p>こうした結果を受けて、第2回（3月開催）では、前回の落選者を優先的に案内し、申込みの多かった年中・年長児のみを対象として実施する予定。来年度以降は、実施回数を増やすなど、より多くの子どもたちにサッカーに触れる機会を創出できるよう実施内容を含めて検討する必要がある。</p> <p>また、実施日についても学校の行事と重ならないようFC東京側と早めの日程調整が必要である。</p>

所管	スポーツ振興課	
事業名称	初心者向けフットサル教室（大人向け）	継続
実施日	令和5年11月27日（月），令和6年1月29日（月）	
実施内容	<p>フットサル未経験・初心者の大人を対象に，FC東京の普及部コーチが実施。フットサル未経験でも楽しめるようにボールを使ったウォーミングアップから試合形式まで一連の流れが体験出来るプログラムで構成。</p> <p>対象：市内在住，在勤，在学の18歳以上 会場：武蔵野の森総合スポーツプラザ サブアリーナ 定員：20名 参加費：無料</p> <p>【参加人数】 令和5年11月27日（月） 14名 令和6年 1月29日（月） 13名</p>	
	<p>第1回では実施時間を午後6時30分からとしていたが，第2回では平日勤務の方がより参加しやすいように時間を30分遅らせて午後7時から開始した。</p>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
今後の方向性や課題等	<p>第1回目を実施した際には，定員割れしてしまったため，第2回目は開始時間が定員割れの要因のひとつとして考え，第1回目から30分遅らせて実施した。庁内掲示板のほか，スポーツ協会に協力をお願いして調布市少年サッカー連盟にも周知したが，定員割れは改善されなかった。第2回目では参加者のニーズ把握するためアンケートを実施。アンケートには，「ボールを使ったストレッチをやってほしい」とのお声もあり，こうした意見を踏まえて次年度以降の実施内容を検討する必要がある。</p> <p>また，本事業は月曜日の夜実施のため，翌日仕事がある方にとっては参加しにくい日程のため，曜日を変更しての実施も検討したい。</p>	

所管	スポーツ振興課	
事業名称	指導者講習会および小学生サッカークリニック	継続
実施日	令和5年11月25日(土), 12月9日(土)	
実施内容	調布市少年サッカー連盟と連携しながら、味の素スタジアムに隣接する調布基地跡地運動広場サッカー場にて、小学生を対象としたプロコーチによる指導を実施。また、サッカーチームのコーチを対象とした指導者講習会も併せて実施。	
今後の方向性や課題等	場所の確保, 開催日程の調整などに時間を要したため, 次年度以降は余裕をもった調整を行う。	

所管 スポーツ振興課・環境政策課

事業名称 楽しくやろうCCAゴミ拾い部への参加

継続

実施日 令和5年6月3日（土），10月19日（木），10月28日（土）

実施内容 FC東京の石川直宏CCが発案した，楽しくやろうCCAゴミ拾い部に参加。今年度は3回参加し，地域の美化活動に貢献した。



今後の
方向性や
課題等

今後も青赤ストリートや環境政策課のクリーン作戦等のイベント開催時に地域の方々と一緒に行える取組の1つにして行きたい。

所管 スポーツ振興課

事業名称 あおあかドリルの配布

継続

実施日 令和5年5月30日

実施内容 FC東京がホームタウンの子供たち向けに作成した、あおあかドリルを実際にFC東京の担当者と共に市内小学校の児童に配布。

今後の
方向性や
課題等

FC東京、教育委員会と連携し小学校でのあおあかドリルを使用した授業の実施について検討していく。

所管 スポーツ振興課・広報課・議会事務局等

事業名称 FC東京クラブ創設25周年に向けた取組

新規

実施日 令和5年9月～10月

実施内容 令和5年10月1日にFC東京がクラブ創設25周年を迎えることを受け、25周年を記念する各種取組を実施

- ・オリジナルグッズ制作
FC東京25周年記念ロゴを活用し、ステッカーや缶バッジを製作。また、名刺や名札を作成し、庁内全体での応援機運醸成を図った。
- ・動画メッセージ
ホームタウンの自治体で連携し、FC東京の25周年を記念するメッセージ動画を制作・発信を行った。
- ・市報特集号
市報9月20日の1面～3面にてFC東京と調布市の連携を中心に特集記事を掲載。
- ・青赤ストリートの開催
FC東京25周年記念試合最終戦に併せて、青赤ストリートを開催
- ・議会ユニフォームデー



今後の
方向性や
課題等

FC東京25周年を記念し、様々な取組を実施。対外的な情報発信は不足気味になり、市の取組を十分周知することができなかった。

今後は、情報発信には特に力を入れて、取り組みたい。

所管 スポーツ振興課・広報課・文化生涯学習課・調布市文化・コミュニティ振興財団等

事業名称 FC東京2024シーズン開幕に向けた取組

新規

実施日 令和6年2月～3月

実施内容 Jリーグ2024シーズンの開幕を迎えることを受け、応援企画を実施。

- ・FC東京からのメッセージ動画
ピーター クラムフスキー監督、バングーナガンデ佳史扶選手の2名から調布市向けのメッセージ動画
- ・FC東京装飾のリニューアル
2024シーズンからFC東京のエンブレムが刷新されることを受け、市内のFC東京装飾のリニューアルを実施。
街路灯フラッグ、市役所本庁舎エレベーター装飾、市役所本庁舎懸垂幕
- ・青赤ライトアップ
調布市文化会館たづくり外壁のLED照明を期間限定でFC東京カラーである青赤に点灯
- ・各種広報媒体でのリーグ開幕PR
リーグ開幕に向けて、市報を中心とした広報媒体にてリーグ開幕のPRを実施
市報2月20日号、市ホームページトップバナー、SNS



今後の
方向性や
課題等

リーグ開幕戦に向けて、各種取組を実施できた。また、FC東京と連携してSNSを中心とした情報発信も積極的に実施し、調布市民のみならずFC東京のファン・サポーターの方々へも調布市がFC東京を応援していることのPRを実施できた。